

2024/4/29

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(4月22日～4月26日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,376.0	1,383.2	1,367.4	1,375.3	▲6.9
JPY/KRW	8.8964	8.9415	8.7937	8.7946	▲0.156
KOSPI	2,615.72	2,677.85	2,604.37	2,656.33	+64.47

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はやや上値重い推移。週初のドル/ウォンは1,376.0ウォンでオープン。中東情勢リスクが和らぎつつある中、米利下げ開始時期の後ずれへの警戒感から日中はややドル買いが優勢に1,380ウォン台まで上昇する場面が見られた。翌23日は米GDP統計の発表を控えた警戒感などから1,370ウォン台後半でレンジ推移。24日は米金利上昇が一服したことによるウォンの買戻しや、米ハイテク株への好決算期待から韓国半導体関連銘柄への資金流入も見られウォン買いが進み、一時1,367.4ウォンまで下落した。25日にの朝方発表された韓国1QGDPは予想以上に好調。輸出の回復が意識された。25日夜間に発表された米第1QGDPは予想を下回るも、個人消費支出価格指数が予想比上昇。一部でスタグフレーション懸念が台頭し、米金利は急騰した。26日は1,370ウォン台で底堅い推移が継続。日銀会合後の円安進行を受けてウォンも弱含む場面が見られるも、終盤にかけて水準を戻し、結局前週末比▲6.9ウォンの1,375.3ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い推移を予想。米金利上昇とドル買い地合いが継続する中で、ウォンは他のアジア通貨同様に軟調地合いでの推移を見込む。今週はFOMCに加え、米4月ISM製造業景況指数や雇用統計といった重要な経済指標の発表を控えており、指標内容を見極めながらの推移となろう。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 29日(月) 欧 4月 消費者信頼感指数 確報値
- 30日(火) 日 3月 鉱工業指数 速報値
- 日 3月 失業率
- 中 4月 製造業PMI
- 中 4月 非製造業PMI
- 米 4月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 欧 1Q GDP 速報値
- 1日(水) 米 4月 製造業PMI 確報値
- 米 4月 ISM製造業景況指数
- 米 4月 ADP雇用統計
- 米 FOMC 政策金利発表
- 2日(木) 欧 4月 製造業PMI 確報値
- 米 3月 耐久財受注 確報値
- 米 4月 失業保険新規申請者数
- 米 3月 製造業受注
- 韓 4月 CPI
- 3日(金) 米 4月 サービス業PMI 確報値
- 米 4月 非農業部門雇用者数
- 米 4月 失業率
- 米 4月 ISM非製造業景況指数

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1365 ~ 1395	8.60 ~ 8.90	156.5 ~ 159.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。